

公開シンポジウム

異種腎臓移植の臨床応用への期待とそれに伴う社会的課題

共催：明治大学、(株)ポル・メド・テック

会場：明治大学駿河台校舎 グローバルフロント 1F 多目的室

日時：2026年 2月 15日 13:00～16:30

↓会場案内↓



<第一部 講演>

1. 河合達郎 (ハーバード大学医学部外科教授 / マサチューセッツ総合病院)

米国における異種腎移植の現況とこれからの展望

2. 田邊一成 (医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院 腎移植・ロボット手術センター長)

本邦における臓器不足の現状とドナー不足への取り組み

3. 堀田記世彦 (北海道大学大学院医学研究院 腎泌尿器外科学教室 准教授)

異種腎移植の展望と透析患者の QOL 向上への期待

～日本における新たな治療選択肢となりうるか？～

4. 神里彩子 (国立成育医療研究センター 医事法制研究部長)

異種腎移植の臨床応用をめぐる社会的課題とその解決に向けて

5. 長嶋比呂志 (明治大学農学部教授 /

(株)ポル・メド・テック CEO・チーフサイエンティスト)

腎臓ドナー遺伝子改変ブタの特徴と品質管理

<第二部 総合討論>

テーマ：日本での異種腎臓移植の臨床応用に向けての期待・展望・課題

来場者との質疑応答（事前申込時に質問をご記入ください）

↓参加フォーム↓



参加フォームより

←←← 事前申込制 参加費無料

<後援>

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 (AMED)

NPO 法人 腎臓サポート協会